

※「○印は基盤整備に関する指標」「◎印は利活用に関する指標」「一印は未着手又は集計時点で評価できないもの」「=印は事業完了」

1 IT利活用による日常生活の利便性向上

事業	頁	評価指標 (斜体は策定以降に追加)	評価(達成状況H18まで)				評価(達成状況H19まで)				評価(達成状況H20まで)				評価(達成状況H21まで)				実績	目標値	備考	ロードマップ208	政策指針2010-2015	担当部署	担当課室	目標値の設定根拠									
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D																	
(1) 県民への情報発信	27	① 使いやすい魅力あるホームページづくり 県情報システム(ネットあいち)のアクセス数	◎				◎				◎				◎				◎				14,230万件/年 (27%)	15,007万件/年 (5%)	15,732万件/年 (5%)	16,724万件/年 (6%)	前年度以上	H18 Webページ作成支援システムを開発 外国語ページの拡充 4ヶ国語(英・中(繁・簡)・韓)→6ヶ国語(葡・西を追加) H19 Web作成支援システムによる各所属作成ページのリニューアル H20 Web作成支援システムの運用改善(作成所属の班長等が内容をパソコン上で確認できる形に変更) H21 Webページ適正化調査事業による各所属作成Webページのチェック 外国語ページのリニューアル	http://www.pref.aichi.jp	—	—	地域振興部	情報企画課	利用増を図るため、現状以上とした。	
	28	② 各種申請等手続の電子化 オンライン化されている申請・届出等の手続におけるオンライン利用率	◎				◎				◎				◎				◎				75.9%	79.2%	82.4%	86.9%	85%	オンラインによる申請数/オンライン化されている手続の全申請数(総務省の定めるオンライン利用促進対象手続に該当する21類型を対象)	https://www.shinsei.e-aichi.jp/home/index.html	—	—	地域振興部	情報企画課	5年後のH22において、H17時の約10%増とした。	
(2) 医療福祉分野でのIT活用	29	① 電子カルテ、遠隔医療と保健・医療情報提供 保険医療機関におけるレセプトのオンライン化率					◎				◎				=				=				—	100%(※)	100%(※)	—	100%(※)	H19.4 開始 国の設定する目標に沿い、各保険医療機関がオンライン化を行うこととなるため、引き続き情報提供等に努める。 国は、各年度ごとに義務化対象施設を定め、H25までに全施設のオンライン化を目標としている。 (※)各年度ごとに定められた義務化対象施設の実績及び目標値計算式: オンライン化の届出をした保険医療機関数+保険薬局数/保険医療機関数+保険薬局数 →平成21年度途中でオンライン義務化はなくなった。(電子媒体による請求は引き続き進める。)	—	—	—	健康福祉部	医務国保課	平成18年厚生労働省令第111号(改正 平成21年厚生労働省令第110号等)	
							◎				◎				◎				◎				10.5%	13.8%	13.9%	12.8%	50%	アクセス数/アクセス数+救急医療情報センターへの電話問合せ件数 引き続き普及・啓発に努め、アクセス率の向上に努める。 外国語対応可能	http://www.qq.pref.aichi.jp/ap/qq/men/pwtpm-enut01.aspx	—	—	—	—	利用割合が救急医療情報センターへの電話案内件数、アクセス件数が半々となるよう50%を目標とした。	
							○	○			=				=				=				—	運用開始	=	=	H19 運用開始	医療機関から報告される医療機能情報を、インターネット上で住民・患者に提供するシステム H21 登録医療機関数10,188、薬局検索も可能とした。	http://www.qq.pref.aichi.jp/mi/	—	—	—	—	運用開始が目標	
	31	② 福祉分野におけるITを活用した情報提供の充実 介護サービス情報へのアクセス数の対前年度伸率					◎				◎				◎				◎				36,527件/年	76,661件/年 (109.9%)	87,192件/年 (13.7%)	90,239件/年 (3.5%)	毎年度10%増	H18.11 運用開始 以下、追加公表表 H18:10サービス H19:3サービス H20:22サービス H21:15サービス	http://www.aichi-fukushi.or.jp/kaigokouhyou/index.html	—	—	—	高齢福祉課	—	利用増を図るため、現状の10%以上とした。
							◎				◎				◎				◎				146件/日 (32.7%)	150件/日 (2.7%)	147件/日 (△2.0%)	131件/日 (△12.2%)	前年度以上	H18.4 「愛知県自閉症・発達障害支援センター」から名称変更 ホームページに「子育て応援ノート」や発達障害医療マップのPDF版を掲載し、アクセス増を図った。	http://www.pref.aichi.jp/hsc/asca/index.htm	—	—	—	障害福祉課	—	利用増を図るため、前年度以上とした。
							◎				◎				◎				◎				126件/年	112件/年	140件/年	165件/年	前年度以上	H18.4 「愛知県自閉症・発達障害支援センター」から名称変更 H20 メール・ファックス相談では、ホームページに可能な限り居住地域を記載して頂く旨を掲載したことにより円滑により適切な情報提供を行うことが可能となった。	E-mail : asca@pref.aichi.lg.jp FAX : 0568-88-0964	—	—	—	健康福祉部	—	利用増を図るため、前年度以上とした。
31	② 福祉分野におけるITを活用した情報提供の充実 Eメールを活用したメンタルヘルズ相談					◎				◎				◎				◎				—	80件/10~3月	181件/年	287件/年	前年度以上	精神保健福祉センターで、Eメールによるメンタルヘルズ相談を受け、県民のこころの健康の保持に資する。 平成19年度にシステムを導入、19年10月から相談業務開始。	アドレス http(s)://www.aichi-pref-email.jp/top.html	【安心】37 Eメール相談をスタートします。	第2部IV-2健康長寿あいちづくり心の健康問題への対応(P301)	健康福祉部	こころの健康推進室	利用増を図るため、前年度以上とした。		
						○				○				○				○				—	—	—	—	H22 運用開始	県民自らがITを使った健康づくりを行える環境を整備する。 H19 県内の健康づくり関連施設のデータベース化、健康促進ツールの開発 H20 サイトの立ち上げ準備、ツールの試験運用・改良、SSLアクセスレータ(個人情報保護対策機器)の設定 H21 システムの利便性や機能性などの検討・改良、試験運用の継続及びシステムの一部供用開始	アドレス https://www.3ahv.pref.aichi.jp/healthynet/	【安心】16 健康情報を一元的に把握・管理できるあいちヘルシーカード(仮称)の導入に向けた検討を進めます。	第2部IV-2健康長寿あいちづくり県民健康力の一大増進(P297)	健康対策課	—	運用開始が目標		
(3) ITを利用した安全安心なまちづくり	33	① 防災情報システムの利活用推進 TVCMによる防災情報の提供					○				○				=				=				—	—	運用開始	50件/年	H20 運用開始	より迅速かつ効果的な防災対策に資するため、報道機関向けに提供する防災情報TVCM(デジタルデータ放送に適合した情報フォーマット)化する。H21.3運用開始	—	【安心】55 地上デジタルデータ放送などを活用した防災情報システムづくりを進めます。	—	—	防災局	災害対策課	運用開始が目標
	34	② ITの活用による交通安全の推進 事故多発交差点における安全運転支援システム(DSSS)の整備	○				○				○				○				○				2交差点	2交差点 (累計)	2交差点 (累計)	2交差点 (累計)	2交差点以上	今後の整備は公共事業の動向を踏まえて進める。	http://www.utms.or.jp	—	—	県警本部	交通部交通管制課	国による安全運転支援システムの大規模実証実験(県内2交差点)の効果を確認して整備を進めていく予定であるため目標値を2交差点以上としたもの	
	36	③ ITを利用した安全安心なまちづくり 学校安全情報共有化システムの構築	○				=				=				=				=				構築	=	=	=	H18構築	ITを利用した情報共有システムの構築。 H18西尾市で学校安全情報共有化システム調査研究事業として実施。H18をもって終了。	—	—	—	教育委員会	健康学習課	構築が目標	
	36	③ ITを利用した安全安心なまちづくり メールマガジン「/トネットあいち」の登録者数					◎				◎				◎				◎				40,425人 (H19.4.2)	51,856人 (H20.4.1)	73,667人 (H21.4.1)	79,593人 (H22.4.1)	前年度以上	H17 11,694人 H18 不審者等情報を追加 H20 事件等情報に交通死亡事故を追加 H21.1 運用改正(配信情報の変更)	—	—	—	県警本部	総務部広報課	利便性を図るため、前年度以上とした。	
37	④ ネットワーク社会の安全性・信頼性の確保 消費生活相談のうち「デジタルコンテンツ」に係る相談の処理率					◎				◎				◎				◎				100%	100%	100%	100%	100.0%	相談処理件数/相談対象件数	—	—	—	—	県民生活部	県民生活課	100%	
						◎				◎				◎				◎				100% (115回実施/年 約3万人/年)	100% (285回実施/年 約7.4万人/年)	100% (378回実施/年 約10万人/年)	100% (288回実施/年 約7.4万人/年)	100%	講話実施回数/講話依頼件数 H21の主な講話内容(サイバー犯罪防止講話)	—	—	—	—	県警本部	生活安全部生活安全総務課	インターネット関連犯罪が多発している現状において、講話依頼が年々増加していることから、これに全て対応することを目標とした。	

※「○印は基盤整備に関する指標」「◎印は利活用に関する指標」「-印は未着手又は集計時点で評価できないもの」「=印は事業完了」

事業	頁	評価指標	評価(達成状況H18)				評価(達成状況H19)				評価(達成状況H20)				評価(達成状況H21)				実績	目標値	備考	関連URL	ロードマップ208	政策指針2010-2015	担当部署	担当課室	目標値の設定根拠								
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D																	
(4) ITによる循環型社会構築	38	① 環境情報システムの充実	○				○				○				○				○				100%	100%	100%	100%	100%	稼働率=システム稼働日数/勤務日数 平成18年度開発 (行政運営支援システム) ・PRTR法に基づく化学物質排出量・移動量及び取扱いに係るシステム ・一般・産業廃棄物処理施設に係るシステム 平成19年度開発 (行政運営支援システム) ・一般・特別物じん発生施設に係るシステム ・揮発性化合物発生施設に係るシステム ・条物じん発生施設に係るシステム ・炭化水素系物質発生施設に係るシステム (情報提供システム) ・産業廃棄物処理許可業者名簿 ・航空機騒音、新幹線騒音・振動調査結果 平成20年度機能拡充 (行政運営支援システム) ・公害健康被害補償に係るシステム ・水発生源データに係るシステム	http://www.pref.aichi.jp/kankyo/	-	-	環境部	環境調査センター	環境情報システムは、各種法令に基づく事業者等の許可・届出状況、立入検査記録などの事業所情報や、大気環境等の常時監視データを処理している。これらの情報は行政運営において常時利用できることが強く求められるものであることから、環境情報システムの常時稼働を目標として設定している。	
	39	② 環境情報の提供、環境学習の推進			◎				◎				◎				◎				◎		2,265件/年	20,013件/年	16,910件/年	30,274件/年	累積平均20,000件/年	H19.2 開設 充実内容 ・環境学習講座の案内や「もりの学舎」の季節ごとのプログラムの案内を随時更新するようとしたほか、「もりの学舎」の団体利用の案内についても掲載するようとした。 ・環境学習講座の申込は、様式をダウンロードできるようにし、利用者の利便を図った。 ・掲載写真の更新や充実を行うなど見やすくする工夫をした。 ・環境学習講座の利用者からは、ホームページを見て申込を行った方が多い。	http://www.aichi-kankyo-gakushu-plaza-net.ocn.ne.jp/	-	-	環境部	環境調査センター	過去の実績及び現状を考慮し、設定した。H19年2月運用開始のため、2ヶ月実績値を1年換算のうえ評価した。	
	40	③ ITを利用した資源循環社会の構築			◎				◎				◎				◎				◎		8,000件/年	6,010件/年	5,490件/年	7,000件/年	前年度以上	H18.5 運用開始 H19.3 資源循環学習ゲームを追加	http://aichi-shigen-junkan.jp/	-	-	資源循環推進課	資源循環推進課	利用増を図るため、現状以上とした。	
(5) 文化情報の発信	42	① 地域文化資産のデジタル化・データベース化の推進	愛知芸術文化センターWebページにおける「美術館所蔵作品検索」のアクセス数			◎				◎				◎				◎				◎		22,612件/年	26,993件/年	23,902件/年	27,895件/年	累積平均25,000件/年	新規公開数 H18[80点]H19[30点]H20[30点]H21[30点] (H19までは39,400件/年を目標値として設定。以降はアクセス数前年度比15%増を目標値として設定)	http://search-art.aac.pref.aichi.jp/p/index.php	-	-	県民生活部	文化芸術課	H19は、特別な展覧会(ブライスコレクション若冲江戸絵画)があり、例外的にアクセス数が増加した。このため、実績に合った目標値に設定し直す。(当初目標値、39,000件/年、H19の評価は目標値の6%としている。)
			インターネット上で公開した陶磁資料館所蔵品のページへのアクセス数			◎				◎				◎				◎				◎		37,248件/年	31,266件/年(累計68,514件)	28,608件/年(累計97,122件)	25,606件/年(累計122,728件)	5年間で189,000件	内容の充実を図るため、1ページ(20点)程度の公開に努める。新規公開数 H18、H19、H20、H21[0点]	http://www.pref.aichi.jp/touji/touji6_1.html	-	-	教育委員会	生涯学習課 文化財保護室	H18並みを維持。 37,800件×5年=189,000件
			国・県指定及び登録文化財のデジタル化			◎				◎				◎				◎				◎		-	-	一部提供	一部提供	H22 全面提供	H21 彫刻、書跡・典籍、考古資料、名勝、天然記念物等提供 H22 絵画、工芸、史跡等提供予定	http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/bunkazainavi/index.html	-	-	教育委員会	生涯学習課 文化財保護室	運用開始が目標
	県内遺跡等情報の統合型GISへの提供			○				○				○				○				○		-	-	一部運用開始	一部運用開始	H20 運用開始	H19 県内遺跡等のデータ約17,000件をデータ変換終了(公開GISを順次整備～H22) H20 変換済みデータの市町村教育委員会による校正、構成データの編集、新情報提供 H22 一般への情報提供開始予定	http://maps.pref.aichi.jp/	-	-	教育委員会	生涯学習課 文化財保護室	運用開始が目標		
43	② 芸術文化情報システムの活用と機能拡充	愛知芸術文化センターWebページ携帯電話サイトの情報検索利用件数			◎				◎				◎				◎				◎		1,814件/月	3,344件/月	5,311件/月	7,996件/月	累積平均3,000件/月	H19.2 開設	モバイルのトップページの主な施設→文化施設→芸術センター→イベント情報→イベント検索(芸文サーバー内)	http://www.aac.pref.aichi.jp/english/index.html	-	-	県民生活部	文化芸術課	H18の1.5倍以上とする。
		愛知芸術文化センターWebページ外国語ページの利用件数			◎				◎				◎				◎				◎		29,748件/月	101,662件/月	25,923件/月	28,448件/月	30,000件/月	利用率: 英語82%、中国語7%、韓国語7%、ポルトガル語4% (H19までは100,000件/年を目標値として評価)	http://www.aac.pref.aichi.jp/english/index.html	-	-	県民生活部	文化芸術課	H19は、特別な展覧会(ブライスコレクション若冲江戸絵画)があり、例外的にアクセス数が増加した。このため、実績に合った目標値に設定し直す。(当初目標値100,000件/月であった。H19の評価は、2年平均で65,705件/月となり65.7%としている。)	
44	③ 図書館横断検索システムの連携強化	図書館横断検索システムへのアクセス件数			◎				◎				◎				◎				◎		264,707件/年	305,017件/年	300,013件/年	356,415件/年	320,000件/年	H18年度実績の20%増をH22の目標値とする。 参加館数: H18末[44館]・H19末[50館]・H20末[50館]・H21末[54館]	http://www.aichi-pref-library.jp/oudan/aichi_oudan_f.htm	-	-	県民生活部	文化芸術課	H18年度実績の20%増を目標に設定	

14事業 26指標 31% 12% 15% 42% 42% 23% 15% 20% 54% 31% 7.5% 7.5% 7.3% 8% 11.4% 7.6%

※「○印は基盤整備に関する指標」「◎印は利活用に関する指標」「－印は未着手又は集計時点で評価できないもの」「＝印は事業完了」

2 電子自治体の高度化とセキュリティの確保

事業	頁	評価指標 (斜体は策定以降に追加)	評価(達成状況H18)				評価(達成状況H19)				評価(達成状況H20)				評価(達成状況H21)				実績	目標値	備考	ロードマップ208	政策指針2010-2015	担当部局	担当課室	目標値の設定根拠																					
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D																													
① 公共事業支援総合情報システム(CALS/EC)の導入	45	電子調達システムによる電子入札の実施件数・実施率				◎				◎				◎				◎	0件/年 0%	247件/年 18.5%	1,077件/年 81.8%	977件/年 79.4%	100%	電子入札件数/入札件数 H18.10 運用開始 H19.10 本格実施	https://www.chotatsu.e-aichi.jp/portal/index.jsp	—	—	農林水産部	農林検査課	100%																	
		電子調達システムによる電子入札の実施件数・実施率				◎				◎				◎				◎	17件/年 0.6%	1,663件/年 27.3%	4,526件/年 97.9%	4,161件/年 100%	100%	同上	—	—	建設部	建設総務課	100%																		
		電子調達システムによる電子入札の実施件数・実施率				◎				◎				◎				◎	4件/年 0.8%	157件/年 33.4%	354件/年 80.1%	425件/年 87.3%	100%	同上	—	—	企業庁	管理部総務課	100%																		
	47	電子調達システム(物品等)の導入				○				○				○				◎	—	—	(仮運用開始) 1,197件 (H20.8~ H21.3)	(本格運用開始) 6,910件/年 (H21.4~)	H21 運用開始 前年度以上	H20.1 入札参加資格申請システムの運用開始 H20.8 電子入札システム、入札情報サービスシステムの運用開始 (試行運用開始) H21.4 電子入札システム本格運用開始	http://www.buppin.e-aichi.jp/index.html	—	—	出納事務局	管理課	(当初)運用開始が目標 (稼働後)利用拡大(前年度実績以上)が目標																	
		総合型地理情報システム(統合型GIS)の利活用				◎				◎				◎				◎	20地図	32地図	38地図	39地図	36地図	H19.5 職員ポータルサイトからの利用開始	—	—	—	—	地域振興部	情報企画課	H22年度時点の予定地図数																
④ 情報通信基盤の整備・拡充	51	庁舎間の低速接続回線(Ins回線の庁舎数)の廃止(全廃)	○			＝				＝				＝				＝	0庁舎	＝	＝	＝	0庁舎	H17 時点でIns回線6庁舎存在。	—	—	—	—	—	全廃が目標																	
		行政事務を扱っている職員の1人1台パソコンの配備	○			○				○				○				○	100%	100%	100%	100%	毎年度100%	H18 配備対象外職員について調査を実施 H20 拡大配備基準の作成	—	—	—	—	地域振興部	情報企画課	100%																
		シンククライアントシステムの導入				○				○				○				○	—	実証実験 実施(35台)	実証実験 実施(35台)	実証実験 実施(35台)	導入	導入可能性について検討中	—	—	—	—	—	導入可否の検討を行う。																	
⑤ 市町村との連携の強化	52	あいち電子自治体推進協議会において県及び市町村等が共同で実施している事業の数				○				○				○				○	6事業	6事業	6事業	6事業	8事業	電子申請・届出、共同セキュリティ監査、インターネット環境整備、施設予約、電子調達(CALS/EC)、電子調達(物品等)	—	—	—	—	—	計画時の事業数を目標																	
		上記共同事業の参加団体数(1事業あたり平均)				◎				◎				◎				◎	91%	93%	90%	91%	100%	各事業参加団体数合計/目標参加団体数合計 目標参加団体数は、独自のシステム(事業)を導入している団体を除く。	—	—	—	—	—	100%																	
① 職員ポータルサイトの利用業務拡充と効率的な運用	53	職員ポータルサイトから利用するシステム数	◎			◎				◎				◎				◎	12システム	13システム	14システム	15システム	12システム	H17 7システム H18 総務事務システム、公有財産管理システム、統合型GIS、WEB作成支援システム等5システム追加 H19 庁内調査回答システム追加 H20 物品等電子調達システム追加 H21 企業庁財務管理システム追加	—	—	—	—	—	計画時の事業数が目標																	
		県立学校教員等ポータルサイトの構築				○	○			＝				＝				＝	接続試験等	運用開始	＝	＝	H19 運用開始	H19 総務事務システムの利用開始	—	—	—	—	—	運用開始が目標																	
	54	行政文書の電子処理率				◎				◎				◎				◎	36.4%	57.8%	61.5%	63.3%	60%	電子処理件数/全処理件数 四半期ごとの各所属単位の利用実績を全庁掲示板で公表	—	—	—	—	総務部	法務文書課	移動当初設定値																
		行政文書の電子決裁率				◎				◎				◎				◎	25.9%	49.8%	53.5%	54.5%	50%	電子起案件数/全起案件数 四半期ごとの各所属単位の利用実績を全庁掲示板で公表	—	—	—	—	—	移動当初設定値																	
③ 内部管理事務の合理化	55	総務事務センター設置等内部管理事務の合理化による人員・経費削減効果(H18はH15からの累積)				◎				◎				◎				◎	194人 3,481,845千円	累計 391人 6,493,083千円 (197人) (3,011,238千円)	累計 452人 10,069,157千円 (61人) (3,576,074千円)	累計 497人 14,033,115千円 (45人) (3,963,958千円)	500人 12,000,000千円	H18 総務事務センター開設、総務事務システム(知事部局等)運用開始 H19 総務事務システム(県立学校教員)運用開始	—	—	—	—	総務部	総務事務管理課	内部管理業務プロセス改革プラン(平成14年11月策定)																
		水道管路情報管理システムの導入				—				—				—				○	—	—	—	一部運用開始	H22 一部運用開始	H22.3 管路施設の位置情報等を電子データ化完了 将来的には目的施設までのナビゲーションを行う	—	—	—	—	企業庁	水道事業課	ナビゲーションの構築が目標																
④ 全庁の業務システムの最適化と推進組織体制の整備	56	情報システム開発費用の削減率				—				◎				◎				◎	—	—	15.9%	14.5%	毎年12%	H19 IT調達指針策定予定 H20 事業開始予定	—	—	—	—	地域振興部	情報企画課	検討組織で決定																
		情報システム保守・運用費用の削減率				—				◎				◎				◎	—	—	11.5%	38.5%	毎年10%	H19 保守運用行動チェックシート作成予定 H20 事業開始予定	—	—	—	—	—	検討組織で決定																	
① 情報セキュリティの確保	57	本県における情報流出事故の件数(情報企画課把握分)				◎				◎				◎				◎	3件	9件	6件	4件	前年度以下	H17 2件 H20 情報セキュリティポリシーの改正	—	—	—	—	—	事故件数0が本来の目標																	
		職員に対する研修の受講人数及び情報提供の回数	◎			◎				◎				◎				◎	研修 400人/年 情報提供 25回/年	研修 650人/年 情報提供 24回/年	研修 1,600人/年 情報提供 25回/年	研修 1,600人/年 情報提供 38回/年	研修 1,600人/年 情報提供 25回/年	情報提供は月1回以上実施する。	—	—	—	—	地域振興部	情報企画課	前年度実績値の維持																
		内部セキュリティ監査の実施				—				—				○				◎	—	—	10月運用開始	26システム	H20開始	H20 3所属10システムを対象に実施	—	—	—	—	—	事業開始が目標																	
		危機管理改善事業の実施				—				—				◎				◎	—	—	改善項目の決定	新サーバ室の設計	事業進捗率 前年度以上	・自治センターの設置環境対策 ・ネットワーク環境対策	—	—	—	—	—	計画策定後、実施できるものから推進。																	
10事業			23指標															17% 4% 17% 62% 26% 9% 17% 48% 61% 22% 4% 13% 78% 9% 9% 4%																													

※「○印は基盤整備に関する指標」「◎印は利活用に関する指標」「ー印は未着手又は集計時点で評価できないもの」「=印は事業完了」

3 デジタル・デバイドの解消—特に地理的な情報格差の解消

Table with columns: 事業, 評価指標, 実績 (H18-H22), 目標値, 備考, 関連URL, ロードマップ208, 政策指針2010-2015, 担当部署, 担当課室, 目標値の設定根拠. Includes rows for IT society support, geographical information gap resolution, and career training.

4 ITSの先導県を目指す

Table with columns: 事業, 評価指標, 実績 (H18-H22), 目標値, 備考, 関連URL, ロードマップ208, 政策指針2010-2015, 担当部署, 担当課室, 目標値の設定根拠. Includes rows for ITS promotion, environment ITS projects, and seminars.

5 ITを活用した産業の振興

Table with columns: 事業, 評価指標 (斜体は策定以降に追加), 実績 (H18-H22), 目標値, 備考, 関連URL, ロードマップ208, 政策指針2010-2015, 担当部署, 担当課室, 目標値の設定根拠. Includes rows for digital content promotion, IT industry development support, and IT human resources.

※「○印は基盤整備に関する指標」「◎印は利活用に関する指標」「-印は未着手又は集計時点で評価できないもの」「=印は事業完了」

事業	頁	評価指標 (斜体は策定以降に追加)	評価(達成状況H18)				評価(達成状況H19)				評価(達成状況H20)				評価(達成状況H21)				実績	目標値	備考	ロードマップ208	政策指針2010-2015	担当部署	担当課室	目標値の設定根拠					
			A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D													
① 商工業のIT化の促進	70	ITリーダー養成研修の受講者数				◎				◎				◎				◎	60人/年	39人/年 (延べ99人)	31人/年 (延べ130人)	20人/年 (延べ150人)	5年間で延べ200人	5年間で200人のITリーダーの育成を目指す。	-	-	-	産業労働部	地域産業課	年40人を目標	
		中小企業金融対策貸付金の融資額		◎				◎		◎		◎		◎		◎		◎	融資目標額 607,920,000千円/年 融資実績 541,662,114千円/年	融資目標額 608,270,000千円/年 融資実績 437,137,573千円/年	融資目標額(現計) 618,400,000千円/年 融資実績 632,202,784千円/年	融資目標額(現計) 644,280,000千円/年 融資実績 621,924,558千円/年	毎年度定める融資目標額	県の融資制度では、中小企業者がIT化を図るための設備導入に特定した融資メニューは21年度から廃止したが、資金使途を限定している一部を除いて多くの融資メニューでIT化を図るための資金への対応は可能となっている。	-	-	-	産業労働部	中小企業金融課	目標・実績値は、県融資制度全体を計上	
		商業団体等の情報化・合理化機器の導入に要する費用の一部補助件数	◎				◎				◎				◎				3件/年	6件/年	5件	1件	3件/年	事業協同組合等に対し、共同POSシステム等の情報化設備整備に要する経費を補助	-	-	-	産業労働部	商業流通課	実施目標値	
		企業間取引(B2Bweb)マスター養成講座の受講社数						◎				◎				◎			-	8社/年	10社/年	10社/年	10社/年	中小企業にインターネットを活用した企業間取引(BtoB)で成功するためのノウハウを取得してもらうための講座 H19 新規	-	-	-	産業労働部	地域産業課	実施目標値	
② 農林水産業のIT化の促進	71	農業の高度自動制御技術の開発件数(累積)				◎				◎				◎				◎	3件	2件 (累積5件)	2件 (累積7件)	2件 (累積9件)	10件 (累積)	①施設園芸分野におけるインテリジェントハウスの開発 小型で高性能なセンサ及び栽培管理支援ロジックを開発するとともに、インターネットからの環境制御を行う技術 ②イチゴ育苗分業化を実現するセル成型苗の長期大量生産技術 栽培技術と貯蔵技術を組み合わせ、慣行の6倍に生産性を高め、コストを2割削減するイチゴの育苗技術	-	-	-	農業経営課		「食と緑の基本計画」に基づく実施目標値	
		家畜個体識別システムの参加割合	◎				◎				◎				◎				100%	100%	100%	100%	100%	参加戸数/県内養牛農家戸数=472戸/472戸	-	-	-	畜産課		牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法による規定	
		青果物の生産履歴情報データベース化率		◎				◎				◎				◎			88%	92%	95%	94%	100%	生産履歴記憶者数/農協出荷会員数 記憶率向上を図るため、農協や農林水産事務所を通じて指導。	-	-	-	農林水産部	園芸生産課	「食と緑の基本計画」に基づく実施目標値	
		観光ルートの開発数(地域資源データベース)				◎				◎				◎				◎	20ルート/年	27ルート/年 47ルート(累積)	8ルート/年 55ルート(累積)	0ルート/年 55ルート(累積)	35ルート (累積)	H18 開発開始 H19 ルート公表開始 H20~21 地図パンフレット作成	http://www.pref.aichi.jp/0000010034.html	-	-	-	農業振興課		県内7地域×1ルート/年×5年
		漁獲量を管理できた魚種数(漁獲管理情報処理システム)	◎				◎				◎				◎				3魚種	3魚種	3魚種	3魚種	3魚種	漁獲量の把握・解析・国への報告等の対象となっている魚種の数(マイワシ、マアジ、サバ類)	http://www.pref.aichi.jp/0000001710.html	-	-	-	水産課		適切に管理することとして国から配分を受けている魚種の数
		海況自動観測システム観測データのホームページへの掲載	◎				◎				◎				◎				36回/年	36回/年	36回/年	36回/年	36回/年	旬ごとに、表層及び底層の水温、塩分、溶存酸素等を、1時間ごとに観測したデータ及びそれをグラフ化したものをホームページに月3回掲載。	http://www.pref.aichi.jp/0000009707.html	-	-	-	水産課		H18並みの維持
③ 観光情報の発信	74	ロケ地となる観光資源情報のデータベース化		○			=				=				=				提供開始	=	=	=	H18 運用開始	H19 10万2,859件/年 H20 10万8,712件/年	http://www.location-aichi.jp/index.shtml	-	-	-	産業労働部	観光コンベンション課	H18をもって、事業達成として整理して可。
		外国語による観光情報の整備				○		○			=				=				-	提供開始	=	=	H19 運用開始	H19 4ヶ国語(英語・中国語(簡体字・繁体字)・韓国語)	http://www.aichi-kanko.jp/pamph/index_e.html	-	-	-	産業労働部	観光コンベンション課	H19をもって、事業達成として整理して可。
		HP等情報の活用		◎				◎				◎				◎			36万3,316件/年	23万5,230件/年	18万9,127件/年	21万3,700件/年	33万件/年	H15年度~H19年度の実績を基にした平均値を目指す。H18までは40万件/年が目標値	http://www.aichi-kanko.jp/index.asp	-	-	-	産業労働部	観光コンベンション課	【計算式】 1,634,772件(H15~H19の件数)÷5年=330,000件
		ブログサイト「三河の山星だより」の開設																○	-	-	-	運用開始	H21.9.1 ブログ開設	http://yamazato.aichi-kouryu.jp	-	-	-	地域振興部	地域政策課 山村振興室	運用開始が目標	
5事業		22指標	6	7	1	8	9	6	3	4	14	1	4	3	13	3	3	3													

27% 32% 5% 36% 41% 27% 14% 18% 64% 5% 18% 13% 59% 14% 14% 13%

計

事業	評価指標	評価(達成状況H18)				評価(達成状況H19)				評価(達成状況H20)				評価(達成状況H21)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
34事業	86指標	22	14	12	38	33	18	13	22	49	16	12	9	58	8	11	8

26% 16% 14% 44% 38% 21% 15% 26% 57% 19% 14% 10% 68% 9% 13% 10% H21は85指標で計った (情報公開センター提供)